

学習状況診断票(算数) 小学校 第6学年

6年 組 番 名前 _____

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		考え方	表現・処理	知識・理解	
数と計算	①	1	1	分数×分数の計算をすることができる。				
		2	2	分数÷分数の計算をすることができる。				
		3	3	分母のちがう分数のたし算の計算をすることができる。				
		4	4	分母のちがう分数のひき算の計算をすることができる。				
	②	2	1	5	約数の意味がわかっている。			
			2	6	問題を解くために、公倍数を用いて考えることができる。			
			7	7	公倍数を求めて問題を解くことができる。			
	③		8	8	分母のちがう分数の大小の比べ方を考えることができる。			
			9	9	分母のちがう分数の大小を比べることができる。			
	④		10	10	分数倍の大きさの求め方を考えることができる。			
			11	11	分数倍の大きさを求めることができる。			
	⑤		12	12	分数×分数の計算の仕方を考えることができる。			
量と測定	⑥		13	13	速さの比べ方を考えることができる。			
			14	14	速さの意味がわかっている。			
	⑦	1	15	15	およその形を考えることができる。			
			16	16	およその面積を求めることができる。			
	⑧	2	17	17	1 cm ³ の立方体の何個分かで体積が求められることがわかっている。			
18			18	1 0 0 0 cm ³ が1 lであることがわかっている。				
⑨		19	19	直方体が組み合わさった立体の体積の求め方を考えることができる。				
図形	⑩		20	20	底面の形と位置関係がわかっている。			
	⑪	1	21	21	展開図から組み立てた立体の名前がわかっている。			
		2	22	22	展開図を組み立てたときの、面の位置関係がわかっている。			
3	23	23	展開図をもとに辺の重なりを見つけ、高さにあたる辺の長さを考えることができる。					
数量関係	⑫		24	24	平均の求め方がわかっている。			
			25	25	平均を求めることができる。			
	⑬		26	26	比についての問題の解き方を考えることができる。			
			27	27	比についての問題を解くことができる。			
					/9	/10	/8	

今後の学習に向けて * 自分がかんばりたいところに○をつけましょう。

考え方	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解くには、どんな習ったことがつかえそうかと考えたり、数を書き出したりして、順序よく考えていくようにしましょう。 分母のちがう分数の大きさを比べるには、すぐに比べられないわけをはっきりさせ、それを解決するためにはどんな習ったことがつかえそうかと考えるようにしましょう。 分数をかける場面の式を考えるには、数直線をかいて、整数をかける場面と同じように考えるようにしましょう。 速さを比べるには、どうすれば比べられるのかを考えたり、速さの意味をもとにして考えたりしましょう。 様々な形のおよその面積を求めるには、その形を、面積が求められる形に置きかえて考えましょう。 直方体を組み合わせた立体の体積を求めるには、体積が求められる立体に分けたり、大きな立体と小さな立体の差をみたりして、習ったことをうまくつかえないかと考えましょう。 展開図の面や辺が、展開図を組み立てたときにどのような位置関係になるのかを考えるには、頭のなかで直方体や立方体を切り開いたり、組み立てたりすることを考えてみましょう。 ○: △と等しい比をつくるにはどうすればよいかを考えましょう。
表現・処理	<ul style="list-style-type: none"> 分母のちがう分数の、たし算やひき算とかけ算やわり算とでは計算の仕方がちがいます。教科書で計算の仕方を確かめ計算が確実にできるように練習しましょう。 公倍数の意味を問題にあてはめて考え、問題を解くようにしましょう。 分母のちがう分数の大きさを比べるには通分したり小数になおしたりしてどちらが大きいかをみつけましょう。 面積を求めるには公式にあてはめたり、単位のいくつ分かと考えたりしましょう。 計算した結果が正しいかどうかを確かめるために、答えの見積もりをたてたり計算をしなおしたりしましょう。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> どういった数を約数というのかをもう一度教科書で確かめましょう。 速さを求めるための計算をしたら、その結果がどういう意味であるのかを確かめましょう。 体積は何のいくつ分で求められたのかを復習しましょう。また、いろいろな体積の単位の関係を復習しましょう。 立体の見取図や展開図から、頂点や辺の個数、面の形、辺や面の平行、垂直の関係などに目をつけて立体の特徴をまとめましょう。